

(兼 第8回長野県高文連放送専門部県フェスティバル)

1．主催：長野県高等学校文化連盟放送専門部（兼主管）
共催：SBC信越放送、長野県高等学校視聴覚教育研究会

2．後援：長野県教育委員会、長野市教育委員会

3．主旨：放送活動を通じて高校生の豊かな人間性と美しく豊かな日本語を大切にする心情を育成すると共に、校内放送活動の健全な育成と推進をはかる。

4．部門：○ビデオメッセージ（VM）部門 ○オーディオ・ピクチャー（AP）部門
 ○テレビ番組フリー（TVF）部門 ○アナウンス部門 ○朗読部門

5．会場：長野市生涯学習センター　長野市大字鶴賀問御所町 1271 番地 3
 ToiGO WEST 3・4階 電話：026-233-8080

6．日時：平成19年　12月15日（土）　番組部門
 （ビデオメッセージ、オーディオ・ピクチャー、ビデオフリー）
 受付 10:00～10:30　本館東口
 12月16日（日）　アナウンス、朗読部門
 受付 10:00～10:30　本館東口

7．内容

（1）アナウンス部門（1校6名まで）

- ・長野県内の話題を全国の高校生に伝える内容の原稿を発表してください。
- ・発表は、番号、学校名、氏名に続いて原稿を読むものとします。
- ・JPEG形式のデジタル静止画像（5枚以内）を使用することができます。
投影は台本にしたがって、主催者が行います。（今年度より）
- ・原稿のタイトルは読まないでください。発表時間は、番号、学校名、氏名を含めて1分30秒以内とします。

（2）朗読部門（1校5名まで）

- ・長野県ゆかりのある作家または作品の中から原文のままを一部選んで原稿とします。
- ・発表は、番号、学校名、氏名、作者名及び作品名に続いて読むものとします。
- ・発表時間は、番号、学校名、氏名、作者名及び作品名を含めて2分以内とします。
- ・BGM、静止画等は使用することはできません。

（3）オーディオピクチャー（AP）部門（1校1作品）

- ・長野県内の話題を題材とした作品とします。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など、手法は自由です。
- ・MDによるステレオ音声と JPEG 形式のデジタル静止画像（50枚以内、総容量は50MB以内）を併用する作品とします。
- ・発表時間は5分以内とします。
- ・画像の投影は発表校が行ってください。

（4）ビデオメッセージ（VM）部門（1校2作品まで）

- ・長野県に関する話題を取り上げた、自校オリジナルのビデオ作品とします。内容、手法は自由です。
- ・発表時間は5分以内とします。

（5）テレビ番組フリー（TVF）部門（1校1作品）

- ・題材・内容とも自由とします。（アニメ・CM・ドラマ・その他まったくのフリー）
時間 は 12 分以内としますが、15 秒程度の CM 等、下限は設けません。

8．規格

（1）デジタル静止画像（アナウンス部門、AP 部門）

ア 画像形式の指定について

- ・ビデオプロジェクターにより、パソコンから JPEG 形式のデジタル静止画像を投影するものとします。
解像度は 1024×768 推奨とします。

イ 画像の内容について

- ・他の著作物を使用する場合は各校で著作者の承諾を得てください。
- ・コラージュ・テロップ挿入等の表現手法については制限をしません が、著作物の改変にあたる場合は、権利者の許諾を得てください。

ウ 映写の方法、操作について

- ・ビデオプロジェクターを1台使用できます。
 - ・デジタル静止画像のデータは、AP 部門は CD-R により提出。アナウンス部門はメールで提出し、データを主催者が用意したパソコンのハードディスクにあらかじめ転送しておきます。
- AP 部門においては、画面を順次切り替える操作は発表校が行ってください。

エ ファイル名の指定について

- ・他校とのデータの間違いや、投影順の混乱を防ぐため画像ファイル名は以下のようにつけてください。
(学校名+投影順を示す二桁の番号)

例：信州高校の場合

1 枚目：shinsyu01.jpg 2 枚目：shinsyu02.jpg ……以降同様

アナウンス部門

1 枚目：a-1.jpg 2 枚目：a-2.jpg 3 枚目：a-3.jpg ……以降同様

(2) 音声再生 (AP 部門)

- ア MD (標準モードで録音してください。LP モードは不可) に1作品分を再生順に録音したものとします。
(MD 上で複雑に編集したものは再生トラブルの原因になるので、1トラックにまとめておいてください。)
- イ 再生エラーに備えてカセットに同内容のものを録音したのも用意してください。
- ウ 再生と音量調節は、発表校で行ってください。

(3) ビデオ (VM 部門)

- ア miniDV (DV 規格は民生用、業務用は不可) のテープに録画したものとします。
- イ テープスピードは、「SP モード」とします。「長時間 LP モード」は使用しないでください。
- ウ 音声トラックは、miniDV 方式では「12bit stereo 1」「16bit stereo」のいずれか一つのステレオ再生とし、音声のミックス再生など、特別な再生方法は行いません。
- エ 作品本編の前後に 20 秒間の静止画によるテストパターン (形式は自由) を録画してください。
- オ 作品の再生は主催者が行います。

(4) 共通事項

- ア 著作権、肖像権等の処理等については、参加団体で責任を持って行って下さい。
詳しくは、別紙「著作物の取り扱いについて」をごらんください。
これらの問題について、トラブル等が生じて、主催者は一切責任を持ちません。
 - ・音楽著作物の使用について、権利者の許諾を必ず得て下さい。
 - ・写真、ビデオ等の著作物については、必ず権利者の許諾を得て下さい。これらの点に問題があり、作品が上部大会等で公開できないと判断される場合、賞の取り消し。全国大会への推薦の取り消しを行うことがあります。
- イ 番組の台本は NHK 杯の要項規定に準じたものを作成し、所定の部数を当日受付へ提出してください。
(<http://hcon.dip.jp/> にも今年度 NHK 杯の要項を参考においておきます。)
アナウンスの台本 (jpeg 画像を含む)・朗読の台本は、電子メールの本文に貼り付けて、電子メールで提出してください。(参加者1名につき、1メールでお願いします。様式は後のページを参考にしてください。)
従来の紙ベースの台本は受け付けません。12月8日(土)までに、送信してください。
- ウ 各部門とも、提出作品はほかのコンクール等に参加していないものとします。

9. 参加申込について

締切を平成 19 年 12 月 5 日 (水) 正午とします。

【申し込み方法】

下記ホームページにて参加登録してください。なお、インターネットにアクセスできない場合は F a x でも受け付けますが、極力ホームページから申し込んで下さい。

番組部門で、J A S R A C 管理曲を使用した場合は、録音利用明細書に記入したものを、この時点で事務局へ F A X してください。(一昨年度からの変更点です)

確認のメールを指定のアドレスへ事務局より返送します。

12 月 6 日 (木) 12 時までに受付確認のメール (または F A X) で返送するので、確認の上、間違い等がある場合、事務局まで大至急連絡をお願いします。(プログラム、賞状等の原稿になります。)

当日までに、郵便局で、参加料、J A S R A C 管理曲の使用料を振り込んでください。(一緒に振り込んでい

ただいて結構ですが、内訳を必ず通信欄にわかるように記入してください。)。
正式の参加申し込み書(学校長印のあるもの)を、当日参加受付まで提出ください。

第26回SBC杯長野県高等学校新人放送コンテスト事務局

参加受付等の大会HPアドレス <http://hcon.dip.jp/>

上田高等学校 宮崎潤 気付

電話026-217-0080(直通) Fax 026-217-0081 email hcon@jnet.dip.jp

10. 提出物 参加部門により以下のものを当日受付へ提出してください

参加申込書(校長印捺印の物) 裏面に下記 を貼り付けてください。

JASRAC録音利用明細書(テレビ部門、AP部門別)

番組の台本2部、作品テープ等(アナウンス・朗読の台本は、12/8までに電子メールで提出)

参加費の郵便局への振込受領書の写し

コンテストについて不明な点は、勝手に判断せず、上記事務局までお問い合わせ下さい。

11. 参加資格：長野県内の高校に在籍する卒業学年以外の生徒に限ります。

統廃合が決定した学校どおしは、合同(チーム)参加することができます。この場合、同じ部門への
統合前の学校での参加はできません。(全国への推薦は1チームを1校とみなします)

12. 参加料：朗読・アナウンス部門は1人につき1,000円。

ビデオメッセージ、オーディオピクチャー、ビデオフリー部門は1作品1,500円。

受付当日までに郵便局でお支払い下さい。

振込先は

口座番号 00580-2-94101

加入者名 長野県高校放送コンテスト事務局

通常払い込み料金加入者負担(受取人振込料金負担)で振り込んでいただいても結構です。

振込まれた参加料等は、棄権等の場合もお返しできません。

13. 表彰：審査員は信越放送の専門職員と高視研放送専門委員が当たり、また表彰については各部門
とも、絶対評価により、下記の通り行います。

SBC賞 1本、優秀賞、優良賞、奨励賞(絶対評価により授与します)

14. 上部大会への推薦について

(1) 全国高等学校総合文化祭への推薦について

平成20年度第32回大会・群馬県伊勢崎市で平成20年8月9日(土)～10日(日)に行われるこの大会へ、
以下の本数を推薦します。

(1) アナウンス部門・朗読部門 各3名

(2) オーディオピクチャー部門 1作品

(3) ビデオメッセージ部門 2作品

ただし、(ビデオメッセージ部門、オーディオピクチャー部門)及び(アナウンス部門、朗読部門)内
での同一校複数の推薦はしません。

(2) 北信越選抜放送大会(北信越地区高等学校文化連盟主催)への推薦について

平成19年度第4回大会は、平成19年2月に石川県で行われ、以下の本数を推薦します。

(1) アナウンス部門・朗読部門 各4名

(2) オーディオピクチャー部門 2作品

(3) ビデオメッセージ部門 3作品

この大会への同一高校の推薦は、各部門1つとします。また、棄権、失格等が生じた場合は、後日繰り上げて推
薦する場合があります。

これらの上部大会へ推薦された場合、アナウンス部門ではJPEG形式のデジタル静止画像(5画像以内)、
朗読部門では効果音やBGMを併用することができます。

15. 個人情報の取扱について

この大会に参加するためにご提供いただいた氏名等の個人情報は、大会運営のため以外には使用しませんが、大会運
営、結果の公表のために、氏名、肖像などを、プログラム冊子、ホームページに公表することがあります。また、優秀

な発表をホームページ等で公表する場合があります。

また、共催者であるＳＢＣ信越放送も、同様の目的で放送、ホームページにおいて公表することがあります。

大会参加の申し込みをもって、この件についてはご承諾をいただいたものと取り扱わせていただきますので、個々の参加者にこの件についてのご承諾をいただくことはしません。不都合がある場合は事務局までお問い合わせください。

【参考】アナウンス・朗読の原稿の原稿様式について

・下記の例にしたがって、添付ファイルではなく、メールの本文に下記様式の原稿を書いて12月8日(土)までに送信してください。従来の紙を綴じた原稿(台本)は受け付けません。

・件名には「○○高校 朗読部門 (氏名)」のように、はっきりと記入してください。

・送信先は hcon@jnet.dip.jp です

《アナウンス部門》 本文中、写真を投影するタイミングを明示してください。

写真は添付ファイルとして送信してください。

アナウンス部門 (1行目は参加部門)

上田北高校 長野太郎 (2行目は学校名 参加者の氏名)

別所温泉について (3行目は作品タイトル 4行目から本文)

(写真1) 信州の鎌倉と言われる別所温泉は、上田の塩田平にあり、全国的に見ても古い歴史をもつ温泉地の一つです。

その昔、ヤマトタケルノミコトが東国征伐のとき、ここに温泉を開き、苦しみを除く七つの湯ということで、七久里の湯と名付けたといわれています。

(写真2) 清少納言の枕草子の中に、「湯は七久里の湯、有馬の湯、玉造の湯」という一節があります。この七久里の湯は、別所温泉であるともいわれています。また、平安末期の武将、木曾義仲も、この温泉の大湯に入浴し、傷を癒した言われています。(写真3)そして石湯は、真田太平記の中で、真田幸村の隠し湯としても登場しました。

今でも、共同浴場として、この二つの湯は、親しまれています。

(写真4) 硫黄の香りが漂うこの温泉には、いろいろな効能もあります。みなさんも一度は、歴史の漂う別所温泉を訪ねてみてください

《朗読部門》

朗読部門 (1行目は参加部門)

長野北高等学校 木谷 有沙 (2行目は学校名 参加者の氏名)

中河与一「天の夕顔」 (3行目は作者名・作品名)

(4行目以下本文)

第26回 SBC杯長野県高等学校新人放送コンテスト参加申込書

高等学校	学校長	印
顧問 (email)	学校電話 学校FAX	

ア	ふりがな 氏名	学年	性別	内 容	写真の 有無
ナ					
ウ					
ン					
ス					
朗 読	ふりがな 氏名	学年	性別	作品名	
				作者名	

部門	タ イ ト ル	分 秒	プの額	準
ビデオメッセージ				
ビデオメッセージ				
テレビ番組				

部門	タ イ ト ル	分 秒	コマ数
オーディオ・ビジュアル			

【 参加費 】 合計 () 円

アナウンス・朗読	1 0 0 0 円	×	人	=	円
番組部門	1 5 0 0 円	×	作品	=	円

【音楽著作物使用料】 合計 () 円
ビデオテープ (テレビ) 関係 420 円 × () 本 = () 円
オーディオテープ (A P) 関係 210 円 × () 本 = () 円

著作物の取り扱いについて

1 音楽著作権の取り扱いについて

校内放送研究NO142(今年度NHK杯全国大会要項・本大会ホームページ <http://hcon.dip.jp/> にもあります。)の手順に準じて、使用した音楽の著作権処理を確実にお願いします。一昨年度より、JASRACの管理曲に関しては、NHK杯のときのように、一括してJASRACへ使用料を主催者が支払うこととしています。ホームページで参加申込みをしたら、参加料とともに、所定の使用料(ビデオテープ関係・1曲420円、オーディオ関係1曲210円)を、大会当日までに、郵便局で支払ってください。JASRACの管理外のものを使用した場合は、各高校の責任で処理を行うこととなります。

【音楽著作物の手続き方法について】

校内放送研究NO142(ホームページ参照)様式2-7等を参考に、レコード会社に音源の使用許諾の申請をし、許諾の回答を得てください。(隣接権の処理)

(この段階で、レコード会社から使用料の請求がある場合もあります)

レコード会社の許諾を得たものについて、校内放送研究NO142のP32~33の録音利用明細書の記入例にならって(JASRACのホームページに未記入の様式があります)記入して、ホームページからのエントリーと同時に、速やかに事務局へFAXしてください。

(ア) 録音利用明細書へは、フリーの音源を使用した場合も記入してください。(NHKの場合とこの部分が違います)CDなどの効果音集(音楽でないもの)を利用した場合は記入しないでください。

(イ) JASRACの管理下でない楽曲の場合は、直接レコード会社等との交渉で、直接権利者へ使用料を支払うこととなります。

(ウ) 楽曲がJASRACの管理下にあるかどうかは、JASRACのホームページのJ-WIDで確認できます。(<http://www.jasrac.or.jp/>)

(エ) JASRACの管理下の楽曲でも、外国曲(JASRACの作品コードの2桁目が英文字もの)は、この取り扱いはできませんので注意してください。

大会当日、「録音利用明細書」へ記入したものを他の提出物とともに、受付へ提出してください。その他JASRAC管理外のものを使用し、権利者と直接交渉した場合は、処理が完了したことがわかるものの写しを提出してください。

- 大会エントリから大会当日までに「録音利用明細書」の記載事項に変更が生じた場合(なるべくこのような事態にならないようにしてください)
 - 追加して支払う必要が生じた場合 → 差額をすみやかに郵便局へ振り込んでください。
 - 使用しない楽曲が生じた場合 → 差額について、返金はありませんのでご了承ください。

その他の著作物(著作権フリーの音源も含む)とともに、様式2-6に記入し、台本に添付してください。

2 写真・動画・文章など、その他の著作物について

著作者の許諾をできるだけ得るようにしてください。

新聞、雑誌、テレビ放送等、商業利用されている著作物については、特に許諾を得てください。許諾を得た場合については、そのことを示すものを台本に添付してください。

引用に当たる場合も含め、使用した著作物は、様式2-6に記入し、台本に添付してください。

3 全般

主催者として、使用した著作物、肖像権などに関し、トラブルが発生しても、一切その責任を負うことはできません。各団体において、責任をもってその処理にあたってください。上部大会の申込みまでに著作権等の処理が完了しない場合は、入賞ならびに上部大会への推薦の取り消しを行う場合があります。